

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 介護老人保健施設事業特別会計

事業区分	継続	事業名	介護老人保健施設事業(収益的収入及び支出)					
所管課	702	庶務課	(介護老人保健施設さんとびあ榛原)		宇陀市介護老人保健施設事業特別会計予算			
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護高齢者の自立を支援し、その家庭生活への復帰を目指すためのリハビリ機能を備えた施設として、平成11年に開設。 ・利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を図り総合的に援助を行う。 ・市総合計画後期基本計画における市民が安心して暮らせるまちづくりのため、介護老人保健施設の役割を果たすとともに、介護・福祉・医療の各機関と連携し、事業の実現を目指す。 				区分 No.	区分名		
					款			
					項			
					目			
細目								
根拠条例等	介護保険法、宇陀市介護老人保健施設事業の設置等に関する条例							
総合計画	基本計画 第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち							
H28年度事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・入所定員 100人 ・通所定員 25人 ・年間入所予定者数 35,464人、1日平均 97.2人 (事業日数365日) ・ " 通所予定者数 4,435人、1日平均 18.3人 (事業日数243日) ・収益的収入 523,000千円、対前年度 2.6%増 ・収益的支出 523,000千円、対前年度 2.6%増 				財源の内訳 (単位:千円)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度決算状況 ・年間入所者数 33,287人、1日平均 91.2人 ・年間通所者数 3,857人、1日平均 15.8人 ・収益的収入 495,237千円 ・収益的支出 571,884千円 差引 △76,647千円 ・決算の概要 入所者数・通所者数とも前年度と比較して減少となり、総収入においても25,277千円の減少となった。また、総費用は、地方公営企業法の改正に伴う会計基準の変更により、41,500千円の特別損失を計上するなどにより、76,647千円の赤字決算になった。 ・現在、奈良県内に50施設(入所定員4,545人)が稼働している。市内で唯一の老人保健施設として、質の高い介護サービスを今後も提供していく。 				分担金			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他	15,708		
					一般財源	507,292		
					H28予算額	523,000		
				H27 当初予算額	510,000			
				H27 現計予算額	510,000			
				増減額	13,000			
事業のコスト		平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		571,884	479,000					
従事職員数【人工】				収益的収入 ・児童手当に要する経費 2,150千円 ・基礎年金拠出金に係る公的負担に要する経費 13,558千円				
人件費(人工×8,000千円)								
総事業費:人件費含む(千円)		571,884	479,000					
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()								
活動指標名		利用者数				備考		
活動指標の算式		-						
活動指標の実績(見込)		37,144	単位	人	35,360		単位	人
単位当たりコスト (円)		15,396		13,546				

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 介護老人保健施設事業特別会計

事業区分	継続	事業名	介護老人保健施設事業(資本的収入及び支出)		
所管課	702	庶務課	(介護老人保健施設さんとびあ榛原)		
宇陀市介護老人保健施設事業特別会計予算					
事業の目的	・施設・設備を良好な状態で維持し、施設介護サービスを安定して提供するため、既存機器の更新を行う。				
	区分	No.	区分名		
	款				
	項				
目					
細目					
根拠条例等	介護保険法、宇陀市介護老人保健施設事業の設置等に関する条例				
総合計画	基本計画 第2章 第3節 高齢者が安心して暮らせるまち				
H28年度事業の概要	・資本的収入 0千円 ・資本的支出 60,000千円 対前年度増減なし ・事業内容(支出) ・有形固定資産購入費 8,550千円 内、機械浴入替 6,250千円 ・企業債償還金 51,450千円 ・収入の不足額は、減債積立金、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんする。			財源の内訳 (単位:千円)	
	・平成26年度決算状況 ・資本的収入 0千円 ・資本的支出 54,614千円 ・決算の概要 ・車椅子式シャワー入浴装置1式 3,404千円、 ・企業債元金償還 49,845千円 ・企業債未償還残高 754,758千円(平成27年3月末現在) ・企業債償還最終年 平成40年度 ・設備については、耐用年数が経過したものから、順次計画的に入れ替えていく。但し、保守点検や修繕等により使用延長が図れるものについては、財政状況等を見ながら判断していく。			分担金 使用料 国費 県費 市債 その他 一般財源 60,000 H28予算額 60,000 H27 当初予算額 60,000 H27 現計予算額 60,000 増減額	
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況	
決算額又は決算見込額(千円)	54,614	57,350			
従事職員数【人工】					
人件費(人工×8,000千円)					
総事業費:人件費含む(千円)	54,614	57,350			
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()					
活動指標名					
活動指標の算式					
活動指標の実績(見込)		単位		単位	
単位当たりコスト (円)					
備考					